

「KIRIN Digital Vision2035」を公開、 従業員のデジタルスキルを強化する「DX 道場」の研修内容も拡充

キリンホールディングス株式会社（社長 COO 南方健志）は、「KIRIN Digital Vision 2035（以下、KDV2035）」（<https://www.kirinholdings.com/jp/innovation/dx/>）を公開しました。当社は、長期経営構想キリングroup・ビジョン 2027 において「価値創造を加速する ICT」を掲げデジタルを重要な成長ドライバーに位置付けています。近年の生成 AI をはじめとしたデジタル技術の急速な進化とお客様の生活や行動の変化を踏まえて、当社のデジタル技術を活用した価値創造をさらに加速させるために、「KDV2035」を策定しました。

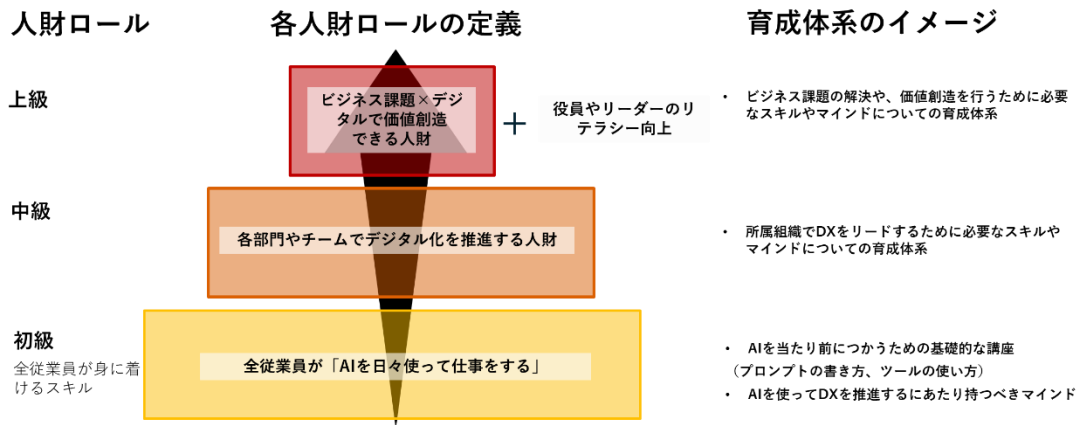


キリングroupは、「KDV2035」のもと、「人がやらなくてよい仕事をゼロにする（＝生産性向上）」と「人と共に価値を生み出す仕事を加速させる（＝価値創造）」をビジネス成果の二本柱とし、それらを支えるデジタル基盤を強化することで、食・ヘルスサイエンス・医の領域で価値創造の「質」「量」「スピード」を飛躍的に高め、世界の CSV 先進企業となることを目指しています。

これまでも、2025 年 5 月に OpenAI 社の GPT モデルを使用した「BuddyAI」を国内グループ会社従業員約 15,000 人に導入するなど、生成 AI を活用することで、従業員が創造的な業務に集中できる環境の構築を進めてきました。また、2021 年より、人材育成プログラムの「DX 道場」を実施しており、これまでに約 3,800 人が講座を受講しています。

今後は、「KDV2035」のもと、デジタル基盤強化の取り組みとして、従業員のデジタルスキル向上をさらに強化していきます。キリングroupに必要な人材ロールについて、経済産業省が定めるデジタルスキル標準 Ver1.2^{※1} をもとに、「上級：ビジネス課題×デジタルで価値創造できる人材」、「中級：各部門やチームでデジタル化を推進する人材」、「初級：全従業員が身に着けるスキルをもつ人材」と定義し、求められる役割に基づいた研修や育成体系を組んでいます。

※1 経済産業省が定める、デジタルトランスフォーメーション（DX）が進む中で、必要とされるスキルを体系的に整理した、人材育成や教育の指標
[デジタルスキル標準（METI/経済産業省）](#)



【デジタルスキル強化に向けた育成体系の概要※2】

■「DX 道場」のプログラムを拡充

「DX 道場」は、2025 年春より生成 AI ツール「BuddyAI」をはじめとした生成 AI 活用の効果を最大化するためのプログラムを拡充するなど、研修内容を進化させました。

<進化ポイント>

- ①業務の実践を重視した研修体系
- ②リーダー層の研修受講を必須化し、上位層も巻き込んだプログラムに改善
- ③受講しやすさを考慮した e-learning 等の追加
- ④スキルアセスメントによる取得スキルの可視化

2025 年は、これまでの累計として初級・中級・上級全体で、約 4,900 名の受講を見込んでおり、その中でも上級は、今年の 3.9 倍の人数が受講する見込みです。

■生成 AI 関連講座を拡充

「DX 道場」以外にも、「生成 AI 導入研修」や「リーダー向け生成 AI 利用マインドセット研修」など、生成 AI 関連の講座を拡充しました。

※2 2025 年 7 月時点

キリングroupは、「KDV2035」の掲げる「人がやらなくてよい仕事をゼロにする（生産性向上）」と「人と共に価値を生み出す仕事を加速させる（価値創造）」というデジタル活用の両軸を確実に推進し、食から医にわたる領域での CSV 先進企業として持続的な成長と社会価値の創出を目指します。

（お客様お問い合わせ先）

キリンホールディングス株式会社 お客様相談室 フリーダイヤル 0120-770-502 <https://www.kirinholdings.co.jp/customer/>
企業情報 Web サイト <https://www.kirinholdings.com/>